

P C T

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

(法第12条、法施行規則第56条)
〔PCT36条及びPCT規則70〕

REC'D 24 JUN 2004

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 SAP-702-PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JPO3/10461	国際出願日 (日.月.年) 19.08.2003	優先日 (日.月.年) 20.08.2002
国際特許分類 (IPC) Int Cl ¹ C07K14/47, C07K14/42, C12P21/02, C12Q1/02, G01N33/48		
出願人 (氏名又は名称) サミット・グライコリサーチ株式会社		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 6 ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。
- a ☐ 附属書類は全部で _____ ページである。
- ☐ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）
- ☐ 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
- b ☒ 電子媒体は全部で ディスク1枚 (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。(実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☒ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日
04.02.2004国際予備審査報告を作成した日
01.06.2004名称及びあて先
日本国特許庁 (IPEA/JP)
郵便番号100-8915
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

4B

9735

六笠 紀子

電話番号 03-3581-1101 内線 3448

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____ 語による翻訳文を基礎とした。

それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査

☐ PCT規則12.4にいう国際公開

☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第 _____ ページ、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ*、

付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ*、

付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第 _____ 項、出願時に提出されたもの

第 _____ 項*、PCT19条の規定に基づき補正されたもの

第 _____ 項*、

付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ 項*、

付で国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの

第 _____ ページ/図*、

付で国際予備審査機関が受理したもの

第 _____ ページ/図*、

付で国際予備審査機関が受理したもの

☒ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること)

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ

☐ 請求の範囲 第 _____ 項

☐ 図面 第 _____ ページ/図

☐ 配列表(具体的に記載すること)

☐ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲	1-16	有
	請求の範囲		無
進歩性(IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1-16	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1-16	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

- 引用文献1:Yim M et al,Mutated plant lectin library useful to identify different cells.,Proc Natl Acad Sci U S A.,2001,Vol.98,No.5,p.2222-5.especially page 2224
 引用文献2:Imberty A et al,An unusual carbohydrate binding site revealed by the structures of two *Maackia amurensis* lectins complexed with sialic acid-containing oligosaccharides.,J Biol Chem.,2000,Vol.275,No.23,p.17541-8.especially page 17541,right column,line 24~38
 引用文献3:Schena FP et al,Increased serum levels of IgA1-IgG immune complexes and anti-F(ab')₂ antibodies in patients with primary IgA nephropathy.,Clin Exp Immunol.,1989,Vol.77,No.1,p.15-20.
 引用文献4:WO 95/15979 A1(NEORX CORP) 1995.06.15
 &EP 733066 A1 &JP 9-506594 A &US 5976535 A &EP 1346730 A1

請求の範囲 1-15

引用文献1には、マメ科レクチンであるMAH由来の複数種類のレクチンを含むレクチンライブラリを形成し、該ライブラリを用いて赤血球上の異なる糖鎖の同定を行い細胞を分画することが記載されている。

引用文献2には、MAHがO-結合型糖鎖を認識するレクチンであることが記載されている。

引用文献3には、IgAの糖鎖の識別をレクチンにより行うことが記載されている。

ここで、引用文献には細胞に対する親和性に基づいて適切なレクチンを特に選別し、目的に対してより効率的なライブラリを構築することについては記載されていないものの、レクチンライブラリに限らず一般に目的物を選別するためのライブラリを作製する際に、目的に応じて選別されたメンバーを選択してライブラリの構成要因とすることは通常よく行われていることである(必要であれば、特表平8-500483号公報、特開2002-181826号公報等参照)。

よって、引用文献1乃至3の記載に基づいて、目的に応じて選別されたレクチンライブラリを用いて異なる糖鎖の同定を行い種々の細胞集団において細胞を分画すること、その際のレクチンとして選別したい細胞に応じてO-結合型糖鎖を認識するレクチンやIgAの糖鎖を識別するレクチン等を選択することは当業者が容易に想到し得たものと認める。

また、本願請求の範囲にはレクチンが特定されて記載されているわけではなく、分画したい細胞で特定されているのみであるから構成に格別の困難性は認められない。

そして、得られたライブラリをレクチンチップやレクチンセンサーの形式とすることは当業者が必要に応じて適宜なし得たものと認める。

従って、請求の範囲1乃至15に係る発明は引用文献1乃至3の記載に基づいて当業者が容易になし得たものと認める。

第VI欄 ある種の引用文献

1. ある種の公表された文書 (PCT規則70.10)

出願番号 特許番号	公知日 (日. 月. 年)	出願日 (日. 月. 年)	優先日 (有効な優先権の主張) (日. 月. 年)
WO 02/66633 A1 「PX」	29. 08. 2002	20. 02. 2002	20. 02. 2001

2. 書面による開示以外の開示 (PCT規則70.9)

書面による開示以外の開示の種類	書面による開示以外の開示の日付 (日. 月. 年)	書面による開示以外の開示に言及している 書面の日付 (日. 月. 年)
-----------------	------------------------------	--

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V 欄の続き

請求の範囲 16

引用文献4には、プラズマフェレシス／カラムを用いた精製方法が記載され、高い親和性の特異的結合を示すリガンド対としてレクチン／糖質が例示されている。

ここで、上述のようにして得られるライブラリをプラズマフェレシスに用いることは当業者が容易に想到し得たものと認める。

従って、請求の範囲16に係る発明は引用文献1乃至4の記載に基づいて当業者が容易になし得たものと認める。

配列表に関する補充欄

第 I 欄 2. の続き

1. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に必要なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき国際予備報告を作成した。

- a. タイプ ☒ 配列表
☐ 配列表に関連するテーブル
- b. フォーマット ☐ 書面
☒ コンピュータ読み取り可能な形式
- c. 提出時期 ☐ 出願時の国際出願に含まれる
☒ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
☐ 出願後に、調査又は予備審査のために、この国際機関に提出された
☐ _____ 付けで、この国際予備審査機関が補正*として受理した

2. ☒ さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

3. 補足意見：

*第 I 欄 4. に該当する場合、差替える配列表又は配列表に関連するテーブルに "superseded" と記入されることがある。